



| | |
|--------------|---|
| Title | 大阪外国語大学アジア太平洋論叢 第8号 編集後記/ 奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1998, 8 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/99923 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

本号は、1996年度より二ヵ年計画で実施した学内特定研究プロジェクト「情報面でのアジア太平洋圏の一体化の現状と展望」（代表：秋田茂）の研究成果報告書である。このプロジェクトは、1995年度から三年計画で展開した、科研基盤研究A「『アジア・太平洋圏』文明の構築をめざして－相互認識の通しての共通の価値観の模索」（代表：赤木攻）と連動している。科研共同研究の成果については、別途刊行される最終報告書を参照していただければ幸いです。日本のマスメディアとアジア太平洋地域との関わりを論じた巻頭報告は、いまだ中間報告の段階にとどまっている。現在、新聞編集の最前線で御活躍中の朝日新聞大阪本社の大和修氏からいただいた貴重な論考と合わせて、アジア太平洋地域における情報面での一体化の一端が垣間見られれば幸いです。われわれは、今後もこの研究テーマをめぐる共同研究を続けてゆくつもりです。

本号に対して、内外の多くの研究者から、特に海外の学界の第一線で活躍中の研究者から、レヴェルの高い諸論考が寄せられたことに深く感謝したい。寄稿された論文の多くは、「アジア太平洋セミナー」で口頭発表された内容をベースに新たに書き下ろされたもので、セミナーでの議論の成果が反映されている。アジア太平洋研究会では、1996年度から、諮問委員会と編集委員会を新たに設置し、学問的交流のネットワークを着実に広げている。

また、昨年度に引き続いて、大学附属の「アジア太平洋地域」関係諸機関の調査報告を掲載することができた。今回は、1998年2月に行なったオーストラリアでの調査報告も含まれています。御多忙にもかかわらず、聞き取り調査の過程で御協力いただいた皆さんに心よりお礼申しあげます。

編集子は、同僚とともにオーストラリア各地の大学を訪問したが、その際にお会いした研究者の方々との交流は印象深い。シドニー大学、ニューサウスウェールズ大学、オーストラリア国立大学、モナシュ大学、メルボルン大学、いずれの大学にもアジア太平洋研究、日本研究の機関があり活発な教育・研究活動を展開している。日本に向けられる関心の高さを実感したが、大阪外国语大学アジア太平洋研究会（K I A P S）もその期待にいささかでも応えられれば幸いです。

最後に、本号の編集に御協力いただいた方々、研究会の多彩な諸活動に参加され力添えをいただいた方々、特に事務処理の面で研究会を支えていただいた大阪外大・会計課総務係の皆さんに、改めてお礼申し上げます。

（秋田記）

HISTORICAL ABSTRACTS および *AMERICA: HISTORY AND LIFE* に本誌の要約・索引が掲載されています。

大阪外国语大学
アジア太平洋論叢 第8号

学内特定研究2「情報面でのアジア
太平洋圏の一体化の現状と展望」
(代表: 秋田 茂) 成果報告書

1998年3月31日 発行

編集兼 大阪外国语大学アジア太平洋研究会
発行者 (会長・赤木 攻)

〒562 箕面市粟生間谷東8-1-1
TEL 0727-30-5111(代)

印刷所 (株)アイジイ
〒531 大阪市北区豊崎7-7-101
TEL 06-371-0321